

平成 23 年度 動物慰霊祭の様子をお伝えします

2011 年 9 月 29 日(木)11:00～11:30 に動物慰霊祭が行われました。本学では、大学院生命理工学研究科とバイオセンターの生物実験分野が中心となって、動物愛護週間に前後して、動物慰霊祭を行ってきています。毎日実験をしていますと 日常に流されて 鈍感になりがちですが、年に一度 このような形で、私たちの実験の犠牲になった動物の貴い命に 思いをはせるのは 大切なことです。広瀬茂久センター長の挨拶では、献身的に動物を世話し、真剣に動物実験に取り組んでいる学生たちの姿とともに、慰霊碑建立のいきさつも紹介されました。

すずかけ台キャンパスには慰霊碑が 2 つあります。1 つは、生物実験棟の 1 階入り口のロビーにあります。これは金属製のモニュメントで、東京藝術大学出身の有賀典子さんの作品です。文字板には「私たちの理解を深めてくれた動物たちに捧ぐ」と記されていますが、この文言は初代センター長でもあった広瀬茂久教授が考え、書は書家の林子麻さんの手になるものです。現代的で東工大らしい慰霊モニュメントとして、陰ながら私たちの研究を支えてくれています。もう 1 つは、グランド脇にあるオーソドックスな石造りの慰霊碑で、花を供えることができますようになっています。これらの慰霊碑は、生物実験センター(バイオセンターに統合される前の名称)の開所式に合わせて、1997 年 9 月 17 日にお披露目されました。すでに 14 年もの月日が流れましたが、この間に犠牲になった動物たちに報いるだけの成果が得られているかどうか 常に 厳しく 自問し続ける必要があります。

廣田順二 専任教員による挨拶(動物実験について心がけるべきことの説明)に引き続き、参加者全員による献花が行われました。



グランド脇(B1 棟前)の実験動物慰霊碑



B1 棟前の参列者



感謝と慰霊の気持ちを込めて花を手向けるセンター職員(左)と教職員・学生(右)

